

平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月9日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社イナリサーチ

コード番号 2176 URL <http://www.ina-research.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中川博司

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 社長室長 (氏名) 野竹文彦

四半期報告書提出予定日 平成22年11月10日

TEL 0265-73-6647

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	1,846	16.9	△96	—	△131	—	△99	—
22年3月期第2四半期	1,579	△3.8	0	△99.4	△24	—	△25	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	△3,330.40	—
22年3月期第2四半期	△841.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%		円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	5,218		1,740		31.9	55,577.45	
22年3月期	5,438		1,881		33.1	60,097.43	

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 1,666百万円 22年3月期 1,801百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	500.00	500.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	700.00	700.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,918	4.5	91	△45.5	38	△74.7	3	△95.0	109.72

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無
（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）
① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期2Q 29,982株 22年3月期 29,982株
② 期末自己株式数 23年3月期2Q 一株 22年3月期 一株
③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期2Q 29,982株 22年3月期2Q 29,961株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報に基づいて作成しておりますが、実際の業績等は様々な要因により予想と異なる結果となる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(第2四半期連結累計期間)	7
(第2四半期連結会計期間)	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間における当社グループを取巻く環境は、主力事業である非臨床試験が大きく関わる医薬品業界では、いわゆる「2010年問題」や医療費抑制政策の影響等から、新薬の開発を加速するなどの対応策が急務となっております。そのため大手製薬企業では、パイプライン（有望な新薬の種）への投資を最終段階にある試験に集中させる傾向が引き続き見られるとともに、海外の新薬開発企業の買収等、新たな収益源の早期確保を目指した動きが顕著となり、従来にも増して競争が激化しております。

当社グループではこの市場の変化による経営環境の厳しさに対応して、事業領域の拡大や経費節減に努めてまいりました結果、売上高は環境事業でかねて受注済みであった製薬企業研究所向け動物飼育機材の納品が開始したことから前年を上回ることが出来ましたが、利益面では主力の非臨床試験事業の売上高低迷等により赤字となりました。これは、非臨床試験事業におきまして、医薬品業界の慣例により売上高に季節変動があり、第4四半期連結会計期間に集中する傾向があるため、例年第2四半期連結会計期間においては売上及び利益ともに伸び悩む傾向があることに加えて、製薬企業の開発動向の変化や円高による海外CRO（受託試験研究機関：Contract Research Organization）を巻き込んだ受注競争の激化に伴う受注価格の低下と稼働状況の低迷により、個々の試験の利益率が低下したためであります。

この様な状況のもと、当第2四半期連結会計期間における売上高は1,126,947千円（前年同四半期比38.9%増）、営業損失は12,662千円（前年同四半期は営業損失6,605千円）、経常損失は23,782千円（前年同四半期は経常損失24,664千円）、四半期純損失は21,197千円（前年同四半期は四半期純損失21,611千円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 非臨床試験

当第2四半期連結会計期間における売上高は749,088千円、営業利益は16,321千円となりました。上記の通りの環境下におきまして、一層の営業力の強化を図り、営業担当者に加え専門知識のある試験責任者（SD）による積極的な顧客訪問といったきめ細かな営業推進に努めましたが、受注実績は657,711千円と伸び悩みました。なお、当第2四半期連結会計期間末における受注残高は1,900,854千円となりました。

② 臨床試験

試験が実施されていますが、まだ売上には至らず設備投資が先行し、売上高は33千円、営業損失は10,428千円となりました。

③ 環境

製薬企業研究所向け動物飼育機材等の納品が開始したことから、売上高は大きく伸びましたが、利益率の低い製品の納品が先行したことから、売上高は377,824千円、営業損失は18,555千円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当四半期末の資産、負債及び純資産の状況

資産の部の残高は5,218,204千円となり、前連結会計年度末と比較して220,121千円減少しました。本減少は主に、前期購入した有形固定資産の支払による現金及び預金の減少であります。

負債の部の残高は3,477,661千円となり、前連結会計年度末に比べ79,632千円減少しました。減少の主な要因は、前期に有形固定資産取得のため振り出した設備支払手形が決済されたことによるものであります。

純資産の部の残高は1,740,542千円であり、前連結会計年度末に比べ140,489千円減少しました。本減少は主に、利益剰余金の減少によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して117,635千円減少し、182,921千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は33,635千円（前年同四半期は257,495千円の使用）となりました。主な内訳は税金等調整前四半期純損失132,584千円、減価償却費147,007千円、仕入債務の増加220,951千円、法人税等の支払額73,177千円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は200,082千円（前年同四半期は432,469千円）となりました。主な内訳は有形固定資産の取得による支出215,231千円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は51,604千円（前年同四半期は542,594千円）となりました。主な内訳は短期借入金の純増加額220,000千円、長期借入れによる収入100,000千円、長期借入金の返済による支出226,940千円であり

ます。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年11月4日に公表いたしました連結業績予想から修正は行なっておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

・会計処理基準に関する事項の変更

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業損失及び経常損失はそれぞれ337千円増加し、税金等調整前四半期純損失は1,751千円増加しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	229,007	361,715
受取手形及び売掛金	410,524	462,384
商品及び製品	2,047	2,538
仕掛品	924,412	840,718
原材料及び貯蔵品	267,459	323,415
その他	227,443	183,761
貸倒引当金	△4,669	△5,395
流動資産合計	2,056,225	2,169,137
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,604,256	3,573,816
減価償却累計額	△1,689,370	△1,577,006
建物及び構築物(純額)	1,914,885	1,996,810
土地	819,982	824,349
その他	969,042	975,158
減価償却累計額	△670,196	△667,932
その他(純額)	298,845	307,226
有形固定資産合計	3,033,714	3,128,385
無形固定資産	92,620	103,036
投資その他の資産		
その他	36,544	38,666
貸倒引当金	△900	△900
投資その他の資産合計	35,644	37,766
固定資産合計	3,161,978	3,269,188
資産合計	5,218,204	5,438,325
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	519,803	300,423
短期借入金	440,000	220,000
1年内返済予定の長期借入金	451,604	444,580
未払法人税等	6,969	79,256
前受金	628,817	648,099
賞与引当金	58,957	92,734
その他	151,974	400,425
流動負債合計	2,258,126	2,185,519
固定負債		
長期借入金	963,716	1,097,680
退職給付引当金	3,340	3,776
役員退職慰労引当金	51,575	49,725
その他	200,904	220,593
固定負債合計	1,219,535	1,371,774
負債合計	3,477,661	3,557,294

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	684,790	684,790
資本剰余金	600,790	600,790
利益剰余金	454,701	569,544
株主資本合計	1,740,281	1,855,124
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△73,958	△53,283
評価・換算差額等合計	△73,958	△53,283
少数株主持分	74,219	79,190
純資産合計	1,740,542	1,881,031
負債純資産合計	5,218,204	5,438,325

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	1,579,562	1,846,754
売上原価	1,140,883	1,525,193
売上総利益	438,678	321,561
販売費及び一般管理費	437,839	417,819
営業利益又は営業損失(△)	838	△96,258
営業外収益		
受取利息	136	99
受取賃貸料	6,398	6,202
補助金収入	2,319	—
その他	1,291	1,006
営業外収益合計	10,146	7,308
営業外費用		
支払利息	18,003	22,583
為替差損	15,163	17,376
その他	2,718	2,630
営業外費用合計	35,885	42,590
経常損失(△)	△24,899	△131,540
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2,562	572
特別利益合計	2,562	572
特別損失		
固定資産除却損	1,867	202
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	1,413
特別損失合計	1,867	1,616
税金等調整前四半期純損失(△)	△24,205	△132,584
法人税、住民税及び事業税	3,026	2,485
法人税等調整額	△2,862	△35,956
法人税等合計	164	△33,471
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△99,112
少数株主利益	843	739
四半期純損失(△)	△25,213	△99,852

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
売上高	811,423	1,126,947
売上原価	602,960	930,680
売上総利益	208,462	196,267
販売費及び一般管理費	215,067	208,929
営業損失(△)	△6,605	△12,662
営業外収益		
受取利息	75	56
受取賃貸料	2,627	2,395
補助金収入	1,021	—
その他	1,268	644
営業外収益合計	4,991	3,096
営業外費用		
支払利息	10,010	11,386
為替差損	10,859	923
その他	2,180	1,907
営業外費用合計	23,050	14,217
経常損失(△)	△24,664	△23,782
特別損失		
固定資産除却損	1,485	162
特別損失合計	1,485	162
税金等調整前四半期純損失(△)	△26,150	△23,944
法人税、住民税及び事業税	1,757	994
法人税等調整額	△6,614	△4,148
法人税等合計	△4,856	△3,153
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△20,791
少数株主利益	318	405
四半期純損失(△)	△21,611	△21,197

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△24,205	△132,584
減価償却費	138,963	147,007
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,508	△704
賞与引当金の増減額(△は減少)	△53,627	△33,777
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△147	△163
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,750	1,850
受取利息	△136	△99
支払利息	18,003	22,583
固定資産除却損	1,867	202
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	1,413
売上債権の増減額(△は増加)	117,055	45,655
たな卸資産の増減額(△は増加)	57,870	△38,629
仕入債務の増減額(△は減少)	△157,061	220,951
前受金の増減額(△は減少)	△316,849	△9,818
その他	34,757	△94,438
小計	△185,268	129,449
利息及び配当金の受取額	136	99
利息の支払額	△20,695	△22,735
法人税等の支払額	△51,668	△73,177
営業活動によるキャッシュ・フロー	△257,495	33,635
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△1,042	15,073
有形固定資産の取得による支出	△425,056	△215,231
無形固定資産の取得による支出	△3,861	—
その他	△2,509	75
投資活動によるキャッシュ・フロー	△432,469	△200,082
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	520,000	220,000
長期借入れによる収入	200,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△114,800	△226,940
リース債務の返済による支出	△16,356	△26,594
株式の発行による収入	1,350	—
配当金の支払額	△47,598	△14,861
財務活動によるキャッシュ・フロー	542,594	51,604
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,131	△2,792
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△148,501	△117,635
現金及び現金同等物の期首残高	306,186	300,556
現金及び現金同等物の四半期末残高	157,684	182,921

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結会計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

	医薬品非臨床 試験事業 (千円)	臨床試験事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	783,935	—	27,488	811,423	—	811,423
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	783,935	—	27,488	811,423	—	811,423
営業利益又は 営業損失(△)	28,506	△14,614	△20,497	△6,605	—	△6,605

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	医薬品非臨床 試験事業 (千円)	臨床試験事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,521,887	—	57,674	1,579,562	—	1,579,562
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,521,887	—	57,674	1,579,562	—	1,579,562
営業利益又は 営業損失(△)	86,828	△31,374	△54,615	838	—	838

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
医薬品非臨床試験事業	医薬品開発のための安全性試験、薬効薬理試験
臨床試験事業	医薬品開発のための臨床試験の受託
その他事業	空調装置、スクラパー(ガス除去装置)、脱臭剤搭載装置の開発・施工・販売等、食品の非臨床試験及びヒト臨床試験の受託

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結会計期間（自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日）

	日本 (千円)	フィリピン (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	811,423	—	811,423	—	811,423
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	38,516	38,516	(38,516)	—
計	811,423	38,516	849,939	(38,516)	811,423
営業利益又は営業損失(△)	△4,122	5,706	1,584	(8,189)	△6,605

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	日本 (千円)	フィリピン (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	1,579,543	18	1,579,562	—	1,579,562
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	48,646	48,646	(48,646)	—
計	1,579,543	48,665	1,628,208	(48,646)	1,579,562
営業利益又は営業損失(△)	8,083	△372	7,711	(6,873)	838

(注) 国別に区分しております。

〔海外売上高〕

前第2四半期連結会計期間（自平成21年7月1日 至平成21年9月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社取締役会は、事業を製品・サービス別に区分して業績を評価しております。したがって当社は、動物試験を通じて医薬品・食品の開発支援を行う「非臨床試験」、ヒト試験を通じて医薬品・食品の開発支援を行う「臨床試験」、実験動物施設の設計及び機材の販売を行う「環境」の三つを報告セグメントとしております。

「非臨床試験」は、製薬企業等から委託を受け、実験動物や細胞を用いて医薬品及び食品の安全性や有効性の確認を行う非臨床試験を実施しております。「臨床試験」は、医薬品及び食品の安全性や有効性を臨床において確認する試験を行っております。「環境」は、脱臭剤搭載装置の設計・販売等を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

(単位：千円)

	非臨床試験	臨床試験	環境	合計（注）
売上高				
外部顧客への売上高	1,440,904	227	405,622	1,846,754
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	1,440,904	227	405,622	1,846,754
セグメント損失（△）	△36,573	△23,906	△35,778	△96,258

（注）セグメント損失は、四半期連結損益計算書上の営業損失であります。

当第2四半期連結会計期間（自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日）

(単位：千円)

	非臨床試験	臨床試験	環境	合計（注）
売上高				
外部顧客への売上高	749,088	33	377,824	1,126,947
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	749,088	33	377,824	1,126,947
セグメント利益 又は損失（△）	16,321	△10,428	△18,555	△12,662

（注）セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書上の営業利益又は営業損失であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。